

2018 年度・技術研究助成・募集要項

公益財団法人 JFE21 世紀財団

1. 助成対象となる研究

鉄鋼技術研究：鉄鋼材料、製造プロセス、鉄鋼副産物を対象とする基礎／応用研究。
計測・制御・分析・計算科学・数値解析等で鉄鋼を対象とする関連技術や生産技術の研究を含む。

地球環境・地球温暖化防止技術研究：地球環境保全と地球温暖化防止を目的とした技術開発を対象とするエンジニアリング（工学）に関する基礎、応用技術の研究。

*いずれも別紙の研究分野分類表のいずれかの分類に該当した研究テーマのみ受け付ける。

2. 助成件数と助成金額

| | | |
|---------------------------|------------------|--------|
| 件数 25 件（原則） （200 万円/件） | 鉄鋼技術研究 | 13±3 件 |
| | 地球環境・地球温暖化防止技術研究 | 13±3 件 |

3. 研究期間

原則 1 年間（2019 年 1 月研究開始・同年 12 月終了・2020 年 1 月報告書提出）

但し、2 年間を上限として延期・延長は可（その場合 2021 年 1 月報告書提出）

4. 応募資格者

日本の国公立大学または公的研究機関に勤務（常勤）する研究者であって国籍は問わない。なおグループでの研究の場合、代表研究者以外の共同研究者は 3 名以内で、大学院生および外国の大学、日本の他の大学や公的研究機関に所属する研究者も可とする。2015～17 年度の本研究助成を代表研究者として受領した者は、代表研究者としての応募はできない。

5. 申請の手続き

本財団ホームページ（HP）の申請様式に記入し、HP 内の申請画面から財団に送信する。

財団 HP : <http://www.jfe-21st-cf.or.jp/>、受付開始：4 月 23 日(月)、締切：6 月 22 日(金)

6. 審査・選考と助成研究(者)の公表

7 月～9 月に審査委員会による審査・選考を行い、9 月末に応募者に結果を通知する。同時に財団 HP 等で、助成研究者と研究テーマ等を公表する。

以上

【別紙】

技術研究助成の対象とする研究分野分類表

*応募申込画面の「研究分類」で、下記の小分類のいずれかを選択して下さい。

(複数の小分類に該当する場合は、最も近いものを登録し、その他は申請書本文に注記して下さい。)

| 区分 | 大分類 | 小分類 | |
|--------------|----------|-------|--|
| 鉄鋼 | 鉄鋼製造プロセス | 鉄プー 1 | 製鉄分野の製造プロセス・生産技術 |
| | | 鉄プー 2 | 製鋼分野の製造プロセス・生産技術 |
| | | 鉄プー 3 | 鉄鋼副産物の処理プロセス・処理技術、再資源化、再利用 |
| | | 鉄プー 4 | 塑性加工、圧延分野の製造プロセス・生産技術 |
| | 鉄鋼材料 | 鉄材ー 1 | 組織(相、粒界、析出、拡散) |
| | | 鉄材ー 2 | 材料設計(複合・焼結材料・ナノ)、合金 |
| | | 鉄材ー 3 | 強度、疲労・破壊、材料評価 |
| | | 鉄材ー 4 | 腐食・防食、電気化学、表面処理、コーティング |
| | 鉄鋼関連技術 | 鉄関ー 1 | 計測・制御技術、計算科学、数値解析 |
| | | 鉄関ー 2 | 分析技術、評価・試験、検査 |
| | | 鉄関ー 3 | 溶接・接合、潤滑・トライボロジ |
| | | 鉄関ー 4 | 鋼構造(設計、試験、工法)、構造解析、土木・建築 |
| 地球環境・地球温暖化防止 | 地球環境保全 | 環境ー 1 | 水資源、飲料水、河川湖沼・海浜、水処理 |
| | | 環境ー 2 | 廃棄物処理、再資源化、リサイクル、金属回収 |
| | | 環境ー 3 | 土壌浄化、環境汚染物質(大気)回収、土壌・大気等無害化の分析・計測、放射性廃棄物処理 |
| | 地球温暖化防止 | 温暖ー 1 | CO ₂ 等温室効果ガス回収・固定、ヒートアイランド |
| | | 温暖ー 2 | 省エネ、排熱利用、燃焼(燃料)、熱機関、空調、ヒートポンプ |
| | | 温暖ー 3 | 燃料電池、蓄電池、水素製造 |
| | | 温暖ー 4 | 再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱、バイオマス)、スマートグリッド、エネルギーフロー |